



思いが伝わるオンライン  
～見せ方等のポイント講座～

# 「思い」を伝えるために大事なこと

## ◇目線

- ・カメラの向こうにいる児童生徒と目を合わせる

## ◇資料

- ・頻度と見えやすさを意識する

a. 紙に書く    b. 画面を共有する

## ◇参加意識

- ・児童生徒が「話す」時間を設定する

a. あてる    b. ブレイクアウトセッション

# 「目線」の練習をしよう

## 【テクニック】

- ・画面ではなく、カメラを見つめる！

## 【使いどころ】

- ・児童生徒に「思い」を伝える場面

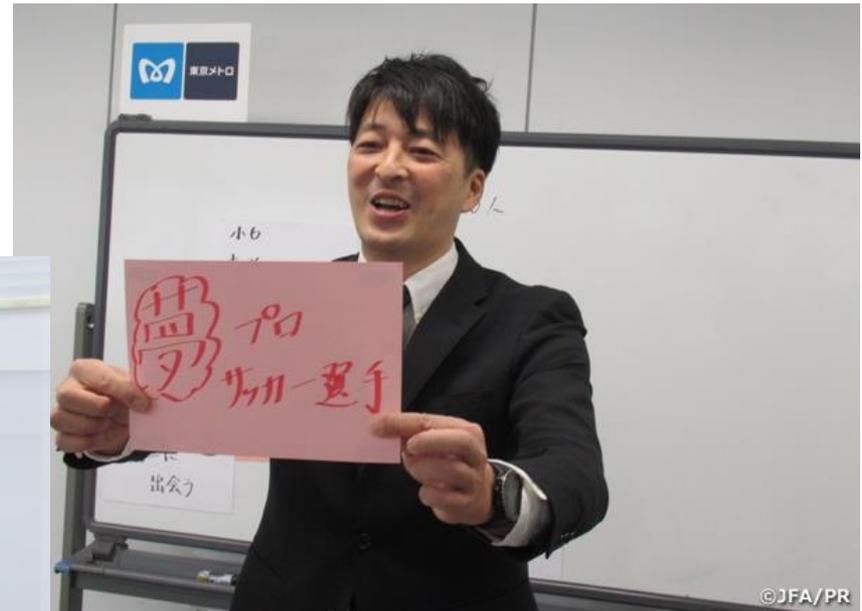
## 【ポイント】

- ・目を合わせることを伝える
- ・間をあけて話す



# 「資料」の提示を効果的に！

## a. 紙に書く①



JFAホームページより

[https://www.jfa.jp/social\\_action\\_programme/yumesen/outline.html](https://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/outline.html)

# 「資料」の提示を効果的に！

## a. 紙に書く②

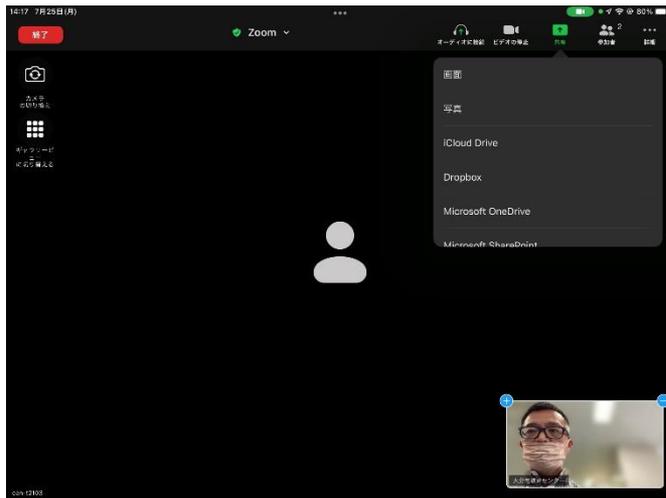


JFAホームページより

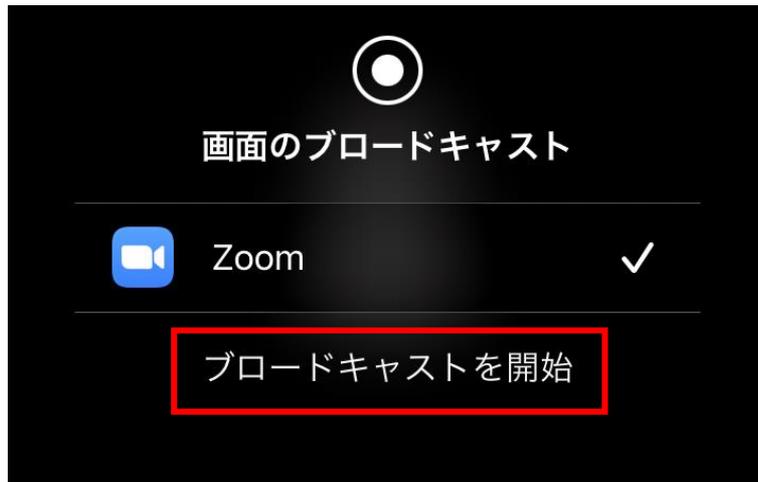
[https://www.jfa.jp/social\\_action\\_programme/yumesen/outline.html](https://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/outline.html)

# 「資料」の提示を効果的に！

## b. 画面を共有する



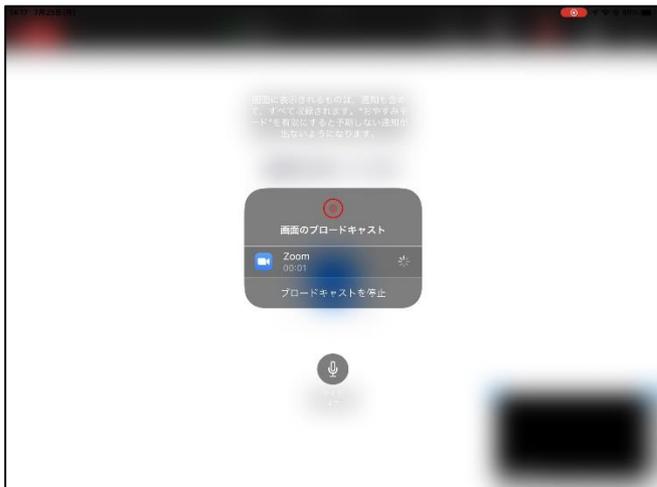
①画面右上の  を選択し、**画面** をタップする。



②「ブロードキャストを開始」をタップする。

# 「資料」の提示を効果的に！

## b. 画面を共有する



③カウントダウン後、画面共有が始まります。以後は、自分の画面が相手にも見えている状態になります。

### 【ポイント】

「紙に書いた文字中心」に授業を進め、「ここ！」という場面で、画像やスライド資料を共有すると、効果的です。



# 「参加意識」を大事にしよう！

## a. あてる

- ・ 他人事にならないように、**児童生徒が発表する場面**を設定しましょう。



### 【ポイント】

オンラインで急に声を出すのは緊張します。

- ・ 一人ずつ挨拶する
- ・ 音読する

など、声を出す場面を作っておくことが大切です。

「思い」を伝える練習をしよう

# 準備するもの

## 【テーマ】

- ・ 自分の紹介
- ・ 伝えたい雑学

## 【時間設定】

- ・ 3分～5分程度

## 【ポイント】

- ・ 目線を合わせる
- ・ 資料を提示する
- ・ 参加意識を大事にする

最後に

# 「思いを伝える・聴く」を大事に

## 大切にしたいこと

### ■健康保障

- ・リズムを作ること
- ・規則正しく起きて、健康に生活すること

### ■つながり保証

- ・子ども同士のつながりをもつこと
- ・教師から「見守られている感覚」をもたせること

### ■教育保障

- ・授業・学習をうながすこと



- ・「上手に使いこなすこと」ではなく
- ・「会えなくても、つながっているよ」を伝えることを大切に。